



# きよかわむら 社協だより

2019  
1  
No.209



## 温かさに満ちあふれる地域福祉の推進



### 謹賀新年

新年あけましておめでとう  
ございます。

村民の皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりの実現に向けて全力で取り組んで参りました。10月には『パラスポーツフェスティバル』、11月には『障害者のつどい』を初めて開催するなど、特に共生社会の推進に重点を置き事業を展開いたしました。

本年は、継続して共生社会の推進に取り組むと同時に、従来からの重点事業であります通所介護事業、また、小地域での助け合いの仕組みづくりを村行政、関係団体などと連携を図りながら進めて参ります。

結びに、本年が皆様にとりまして幸多い年となりますようご祈念申し上げ、新年のごあいさついたします。

会長 山戸 正志

### 1月号 おもな内容

- |     |                      |                  |    |
|-----|----------------------|------------------|----|
| ●特集 | 防災とボランティアの日 1月17日    | ●村社協障害者のつどい      | 3P |
|     | 防災とボランティア週間 1月15～21日 | ●優良老人クラブ連合会表彰を受賞 | 3P |
|     | 災害ボランティアセンターについて 2P  | ●障害者カラオケ交流会      | 3P |
|     |                      | ●社協からのお知らせ       | 4P |

※みなさまの会費の一部は「社協だより」の発行に充てさせていただきます。



## 防災とボランティアの日 1月17日 防災とボランティア週間 1月15～21日 災害ボランティアセンターについて

日本では今までに数多くの地震・津波・台風などの災害が発生してきました。それに伴い全国各地で多くの被害が出ていますが、同時に被災地の復旧・復興に貢献しようと全国から災害ボランティアが被災地に駆けつけています。今回は災害ボランティアを派遣する災害ボランティアセンターについて紹介します。

### ★活動の広がり

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災では、全国から延べ約130万人以上の国民がボランティア活動に参加し、『被災地におけるボランティア活動』の重要性が広く認識されました。

2年後の平成9年に発生したナホトカ号重油流出事故においても多くのボランティアが駆けつけましたが、現地で上手く統制することができず、非効率な活動しかできませんでした。そこで災害ボランティアの方々を円滑かつ効率的に活動が行えるように調整する機関として『災害ボランティアセンター』が誕生しました。

### ★平成30年の主な災害ボランティアセンターの設置状況

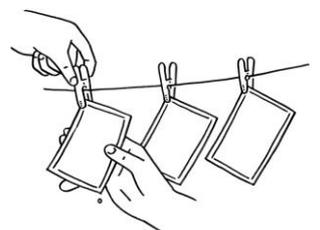
#### ●大阪府北部を震源とする地震

平成30年6月18日に発生した大阪府北部を震源とした地震により、災害ボランティアセンターが大阪府内の6市に設置されました。主に家屋内の清掃や壊れた家具の搬出などの要望に対応し、7月3日までに延べ4,744人のボランティアが活動されました。



#### ●平成30年7月豪雨

平成30年6月28日から7月8日にかけて西日本を中心に広い範囲で記録的な大雨となったことにより、災害ボランティアセンターが西日本を中心に12府県の60市町に設置されました。主に給水や家屋内外の泥出し・清掃、壊れた家具の搬出、写真の洗浄などの要望に対応し、10月3日までに全国で23万5千人を超えるボランティアが活動されました。岡山県倉敷市など現在も活動継続している災害ボランティアセンターがあります。



#### ●平成30年北海道胆振東部地震

平成30年9月6日に発生した胆振地方中東部を震源とした地震により、災害ボランティアセンターが北海道内の3町に設置されました。地震発生以来、家屋の片付けや仮設住宅への引越し支援、炊き出しなどのイベントなどが現在も行われており、11月5日現在で1万1千人を超えるボランティアが活動されました。

多くの災害ボランティアセンターは災害発生から数日で設置されます。情報収集活動を開始してから、活動内容を把握し、ボランティアの安全が確保されてから実際に災害ボランティアの派遣を行います。今後、災害ボランティア活動に出向く機会があった際には、被災地の災害ボランティアセンターの情報を確認してから活動に参加してください。

## 皆が認め合って差別をなくそう

～村社協障害者のつどい～

村社協主催の『障害者のつどい』が1月30日、村保健福祉センターやまびこ館で行われました。『障害者が暮らしやすい社会を推進するため』をテーマとした講演会、障害当事者によるトークショーに会場は満員となり、関心の高さがうかがえました。トークショーでは、精神障害のある上野佑介さん（下舟沢在住）らが、現在の事業所などへ就労するまでの経緯や仕事のやりがいなどについて話されました。参加者からは「人が皆認め合う社会であれば差別は少なくなるのではないか」「トークショーのお二人の頑張りがよく伝わった」などの感想が聞かれました。



## 優良老人クラブ連合会表彰を受賞

～清川村縁ことぶき連合会～

昨年12月5日、沖縄県で開催された第47回全国老人クラブ大会において、清川村縁ことぶき連合会が優良老人クラブ連合会として表彰されました。当日は、大堀多恵子会長が式典に参加し、表彰状を受け取りました。大堀会長は「今回受賞できたのは長きに渡る活動があったのもです。これまで活動されてきた諸先輩方に感謝を伝えたいです。この賞に甘んじることなく、これからも会員相互の交流を図りながら、高齢者が村で楽しく生活していくことができるよう、会員とともに活動していきたいと思えます」と話していました。



↑ 会場前にて神奈川県より表彰されたみなさんと記念撮影（右から2番目が大堀会長）

## 障害者が歌を熱唱

～障害者カラオケ交流会～

障害者のカラオケ交流会が12月2日、村保健福祉センターやまびこ館で行われました。交流会は、年末たすけあい募金配分金事業の一環で、カラオケと食事などを楽しむイベント。カラオケを通じた障害者同士の交流の取り組みとして村社協が主催し今回が6回目になります。この日は、付き添いの家族を含め13人が参加しました。得意の歌を熱唱する参加者へ、周囲からは手拍子や大きな拍手が送られました。参加者は「今年も思いっきり歌えた」「友達と久しぶりに会えて楽しかった」と喜んでいました。



## 人権フォーラムかながわ21

「語ろう夢を！いっしょに夢をかなえよう！」

～Make your dream come true～

「障害者の人権について考える」をメインテーマとし、かながわ共同会からの発信により地域社会における障害者の人権啓発活動および障害者理解を促進し、地域社会の「支えあい」を推進することを目的として開催します。

日時 平成31年2月2日(土)  
午後1時～午後4時(開場 午後12時30分)  
(午前11時30分より製作品販売コーナーがオープンします)

場所 厚木市文化会館小ホール  
(厚木市恩名1-9-20)  
※当日は、小田急線「本厚木駅」南口よりマイクロバスの送迎がございます。

内容 ●津久井やまゆり園のいま  
●「夢をあきらめない～東京2020～」  
講演 青木辰子氏  
●進和学園とびっきりレインボーズ  
バンド演奏  
●秦野精華園 S-girls のダンス  
※厚木市内福祉施設による製作品の販売会も実施しています。

参加費 無料

申込 平成31年1月31日(木)までに電話やメール等で申し込み(先着350名)

お問い合わせ・お申し込み先  
社会福祉法人かながわ共同会  
法人事務局人材企画部 担当：城所、中迫  
電話 046-265-0035  
FAX 046-265-0036  
E-mail hoj-kikaku@kyoudoukai.jp

## ひきこもり地域青少年支援フォーラムと個別相談会

ひきこもりを体験した人、支援者や家族の体験談を聞き、社会参加や自立に向けての方策と一緒に考えるフォーラムです。ひきこもりに悩む当事者やその家族、行政、地域関係者など多くの方のご参加をお待ちしています。

日時 平成31年2月15日(金)  
午後1時～午後4時30分  
※受付 12時30分から  
場所 大和市渋谷学習センター3階  
304・305会議室  
(大和市渋谷5-22 (IKOZA 内))

内容 ●1部 フォーラム(1時～2時30分)  
「ひきこもり」を理解していますか?  
講師 ひきこもり支援者  
ひきこもり体験当事者  
定員 40名(先着順)  
●2部 個別相談会(2時40分～4時30分)  
・青少年センター、NPO 団体等が相談を受けます。  
・対象は、大和市を中心とした地域でひきこもり問題に悩む家族や当事者(39歳まで)です。  
・相談は無料です。

申込 フォーラム、相談会とも、下記あてにお電話でお申し込みください。  
その他 参加者の懇談会を併せて開催いたします。懇談会への参加は自由です。

お問い合わせ・お申し込み先  
県立青少年センター青少年サポート課  
電話 045-263-4467(月曜休み)

## 回収にご協力ありがとうございます

平成30年11月～平成30年12月

○ペットボトルキャップ 5件  
○古切手 1件

編集・発行

社会福祉法人

清川村社会福祉協議会

〒243-0195

神奈川県愛甲郡清川村煤ヶ谷2220-1

清川村保健福祉センターひまわり館内

電話 046(287)1118

FAX 046(287)2013

はあじ  
うおーむ  
2ページにて「災害ボランティアセンター」についてご紹介しました。昨年は多くの地域でこのセンターが設置されましたが、現在はほとんどが閉所されています。しかし、機能としては協などの通常業務内で引き継ぎ、今尚、多くのボランティアが仮設住宅などで活動されている状況です。